

山梨県におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定

株式会社いちやまマートは、協定参加団体とともに、地球温暖化の防止と循環型社会の構築に向けた環境に配慮した活動を推進し、次世代によりよい環境を引き継ぐことを目指して、マイバッグ等の持参促進とレジ袋削減の推進を図るため、この協定を締結し、以下の事項について協働して取り組みます。

1 株式会社いちやまマートは、山梨県内の店舗において、年間のマイバッグ持参率を90%以上とすることを目標に掲げ、次の取り組みを推進します。

参考：協定締結時店舗一覧

店舗名	所在地	店舗名	所在地	店舗名	所在地
城山店	富士吉田市	イツモア赤坂店	富士河口湖町	イツモア一宮店	笛吹市
イツモア塩部店 イツモア増坪店 池田店・徳行店	甲府市	イツモア双葉店	甲斐市	塩山店	甲州市
		イツモア山梨店	山梨市	イツモア玉穂店	中央市

- (1) 平成20年6月30日から実施しているレジ袋の無料配布中止を継続します。
- (2) レジ袋の無料配布中止により、レジ袋収益金（注）が生じた場合には、リサイクル推進等の環境保全活動や地域貢献活動に使用し、その内容を定期的に公表します。
- (3) マイバッグ等の持参促進のため、ポイント付与キャンペーンや店舗内での呼びかけを行うなど、積極的に普及啓発します。
- (4) レジ袋削減のための活動状況については、定期的に山梨県ノーレジ袋推進連絡協議会に報告するとともにその内容を公表します。
- 2 協定参加団体は、株式会社いちやまマートのレジ袋の無料配布中止などのレジ袋削減に向けた取り組みを支援し、県民にマイバッグ等の持参を呼びかけるなど、レジ袋削減に向けて積極的に普及啓発します。
- 3 山梨県ノーレジ袋推進連絡協議会は、レジ袋の無料配布中止などによるレジ袋削減の効果を公表することにより、この取り組みの更なる拡大を目指します。
- 4 この協定の有効期限は、平成23年7月1日から平成25年6月30日までとします。
ただし、有効期限後も、協定者から脱退の意思表示がない限り、自動更新することとします。
また、この協定からの脱退は、当事者の自由意思によることとします。
- 5 この協定に定める事項を変更しようとするとき、この協定に定めのない事項で必要が生じたとき、または、この協定に関し疑義が生じたときは、協定締結当事者間で協議することとします。

（注）「レジ袋収益金」とは、レジ袋販売代金からレジ袋納品原価、消費税を差し引いた金額です。

平成23年6月7日

【協定参加事業者】

株式会社いちやまマート
代表取締役

三井 雅嗣

【協定参加団体】

山梨県ノーレジ袋推進連絡協議会長

金子 浩庸

山梨県知事

横内 正明

あしたの山梨を創る生活運動協会会长

飯窪 さかえ

富士吉田商工会議所会頭

堀内 光一郎

甲斐市長

保坂 武

J A山梨女性部協議会長

赤沢 政子

山梨県生活学校連絡協会会长

石井 直江

山梨県商工会連合会長

竹井 清八

笛吹市長

荻野 正直

山梨県消費者団体連絡協議会代表幹事

大塩 祐治

山梨県生活研究グループ連絡協議会長

大塩 祐治

甲府市長

宮島 雅展

甲州市長

田辺 篤

山梨県消費生活研究会連絡協議会長

仲澤 早苗

山梨県連合婦人会長

渡辺 真弓

富士吉田市長

堀内 茂

中央市長

田中 久雄

山梨県女性団体協議会長

飯窪 さかえ

甲府商工会議所会頭

上原 勇七

山梨市長

竹越 久高

富士河口湖町長

渡邊 凱保